



## 第1回軽トラ市

6月21日【市民ホールTETTO】

本年度初の軽トラ市が開催されました。当日は天候にも恵まれ、野菜の販売、はちみつや地元産のワインなどの特産品、パンやお弁当の販売など13の事業者が出店し、お年寄りから家族連れまで幅広い世代で賑わいました。このイベントは月に1回場所を変え、11月まで開催される予定です。次回は7月25日(日)にうのすまい・トモス前広場で開催される予定です。

## ソウルドアウト(株)との地域活性化起業人に関する連携協定の締結式

7月1日【市民ホールTETTO】

市は、地域経済の活性化を推進するため、三大都市圏の企業から地方自治体へ人材派遣を行う制度「地域活性化起業人」の活用に関する連携協定をソウルドアウト(株)と締結しました。今回、この制度を用いて、同社から想いの言語化・発信を専門とする池井戸葵さんが派遣されました。池井戸さんは「釜石にある宝をたくさん磨いて、魅力的に発信していきたい」と決意を述べました。今後は、地場企業との連携を通して、釜石独自の魅力や価値の向上、釜石オープンフィールドミュージアム構想の推進などに取り組みます。



市長から地域活性化起業人に委嘱された池井戸さん（中央左）

## (株)オヤマとの連携協定の締結式

7月1日【市長室】

一関市に本社を置く(株)オヤマと養鶏農場立地に関する連携協定を締結しました。同社は鶏肉の生産や加工、販売などを行っている会社で、市内の会社と取引があったことをきっかけに令和2年3月から立地に関する計画が進められてきました。新設する工場は、栗林町の養豚場跡地に立地する予定で、令和5年から稼働を開始し、年間最大73万羽の生産体制を見込んでいます。また、正規従業員6名の他、臨時雇用も検討し、新たな雇用の場の創出も期待されます。



小山社長は「釜石の発展に全力を尽くしたい」と抱負を述べました

## 釜石ラグビー人材育成専門員辞令交付式

7月1日【市長室】

市は「ラグビーのまち・釜石」を推進するため、釜石ラグビー人材育成プロジェクトをスタートさせます。このプロジェクトを担う「釜石ラグビー人材育成専門員」として佐伯悠さんが任命され、市長から辞令が交付されました。佐伯さんは神奈川県出身で大学卒業後の2007年に釜石シーウェイブスに入団、2019年まで選手・スタッフとして活躍しました。東日本大震災が発生した2011年当時はキャプテンを務め、率先してボランティア活動に取り組みました。佐伯さんは「釜石には大きな恩がある。自分が経験したことを子どもたちに還元し、ラグビーの楽しさを伝えて行きたい」と抱負を語りました。



市長からは「釜石の高校から花園出場」という大きな目標が掲げられました

## 第1回かまいし未来づくりプロジェクト

6月2日【チームスマイル・釜石PIT】

行政と市民がまちについてともに考え、ともに活動することを目的にプロジェクトチームが設立され、初の会合が行われました。チームは公募で選ばれたさまざまな立場の48人で構成され、第6次釜石市総合計画の実施計画についての意見交換や、小・中・高校生と連携した活動を行います。

今後、メンバーが「人口減対策」「健康寿命日本一へのトライ」「持続可能な交通体系の構築」「人材育成と産業の振興」「学びの多様性の実現」「防災まちづくりの推進」の6つのテーマについて議論を重ね、市民目線に立った事業の構築を目指します。



自己紹介や問題意識の共有をしました

## 環境月間事業 釜石市自然・生活環境展

6月4日～6日【市民ホールTETTO】

6月の環境月間事業の一環として開催され、展示部門では「釜石に生息する生き物」や「ごみ処理、リサイクルの取り組み」などについて写真やパネルが展示されました。体験コーナーでは、まつぼっくりやどんぐりなど自然のものを使った工作や手回し発電機を使った実験などをして、環境について学ぶことができました。6月5日には地球温暖化に関する映画が上映され、参加者は大切な地球を守っていくために何をすべきかを考えるきっかけになりました。



どんぐりやまつぼっくりで立派な飾り物が完成



豆電球とLED電球、どっちが簡単に点灯するかな

## 海面養殖サクラマス初水揚げ

6月10日【魚市場】

令和2年11月から釜石湾内で岩手大学、釜石湾漁業協同組合、地元の水産会社、市などが共同で養殖試験研究に取り組んでいる海面養殖サクラマスの初水揚げが行われ、約2トンが水揚げされました。平均体長は約50センチ、重さは約2キロで、入札では、天然物より高めのキロ700円～1,200円で地元の水産加工会社などに取引されました。その後、初水揚げを含め、計5回水揚げされ、約12.8トンの水揚げとなりました。



生育が良く、予定よりも1カ月ほど早い出荷となったサクラマス

## 唐丹町漁協 新定置網船進水式

6月16日【唐丹小白浜漁港】

唐丹町で4年越しの計画となる新定置網船「第十八かねしま丸」（総重量19トン、唐丹町漁協所有）が完成し、進水式が行われました。大石、花露辺・本郷の漁港で各浜に祭られた神様へお参りした後、小白浜の漁港へ到着し、進水式は金島漁場・大建漁場事業所で行われました。30年ぶりとなる新定置網船のお披露目は、地元住民の注目度も高く、多くの人が集まり大漁を祈願しました。



たくさんの大漁旗で彩られ、地元住民にお披露目されました